

1. 報告要旨

2011年3・11の福島原発事故以降、市民の過半数以上が脱原発を望むようになりました。グリーン・アクションは、日本は「原発即時ゼロ」にすべきという立場から活動しており、その特徴は、1970年代の公害反対運動から引き続く歴史に裏付けられた実績ある活動、原発を止める為に人と人、各地の市民運動が繋がることを重視した活動、また国内と海外を繋ぐための海外メディア、専門家、市民活動に対する窓口機能です。

今年の活動は、2013年9月15日時点で停止状態にある全ての原発をこのまま止めておくことを優先課題としました。特に再稼働のスタートとなる可能性が高かった大飯原発3・4号機の運転再開を阻止できるかどうか他の原発のメルクマールとなるため、今期はこれに集中しました。また川内原発等の運転再開が狙われている各地の原発阻止運動を相互に繋げることに努力しました。

活動のポイントは3点です。第1は、原発敷地内とその付近の活断層の存在と新規規制基準による原発審査の技術的な問題点を指摘することにより原発再稼働を止めることです。2012年にグリーン・アクション他が指摘した原発敷地内での活断層の存在について、活断層の調査が行われるようになりました。さらに断層三連動を元に地震動の評価が行われるべきと主張することで、原子力規制委員会の適合審査の中で、大飯原発耐震工事が必要になりました。そのため、大飯原発の審議の進行が遅れ、審査終了は2014年度終了まで延びることになり、大きな成果となりました。

第2は、防災計画不備による再稼働反対活動です。大飯原発防災計画の避難元と避難先になる自治体の防災計画策定状況を調査したことにより、計画の未完成・不備が次々に明らかになり、国会でも取り上げられるほどにすることができました。

第3は、多くの外国のメディアと専門家に対し日本の状況を知らせ、海外の専門家などの意見を日本に伝えるという、グリーン・アクションの強みを生かした活動です。外国の専門家の講演会や勉強会を設定するだけでなく、FacebookやYouTubeを活用した情報発信を開始しました。海外向けの活動を強化するための若いバイリンガルのボランティアを交えた定期的な内部会議や勉強会を定着させることにより、人材育成、運営ノウハウの蓄積も進んできています。新しく育ったメンバーにより、原子力市民委員会、脱原発をめざす首長会議、e-shiftなど国内団体と海外の専門家などとの議論を深め、さらに活動の輪が広がるよう働きかけていくための下地が出来ました。

2. 成果物

1. [A Call to Action towards Nuclear Safety - Everyone has a Voice: Aileen Mioko Smith at TEDxKyoto 2013](#)
2. [Japanese citizens sue, saying "No!" to restart of nuclear power in Japan.](#)
3. [原発事故の避難計画知っていますか？](#)
4. 「現在も続く福島第一原発の危機 The Ongoing Fukushima Daiichi Crisis: Ongoing Radioactive Discharges and Other Current Issues」(2014年9月24日)記者会見コーディネート
グレゴリー・ヤツコ(元米国合衆国原子力規制委員会 NRC 委員長)、トーガン・ジョンソン(住宅・都市計画建築家、サンディエゴフォーラム市民側代表)、筒井哲郎(原子力市民委員会)
5. 「プルトニウム分離のセキュリティと経済への影響 Security and Economic Implications of Plutonium Separation」(2014年5月23日)記者会見コーディネート
フランク・フォンヒッペル(プリンストン大学 教授)、マイケル・シュナイダー(マイケル・シュナイダー・コンサルティング)、田窪 雅文(ウェブサイト「核情報」主宰)

6. [「原子力防災計画」市民の活動](#)
7. [日本の反原発市民運動が、原子力に止めを刺し国のエネルギー政策転換を実現させる可能性について-この課題を達成するために私たちが引き受けなければならないことは何か](#) (要旨: 日本語)
[The Potential of Japan's Anti-Nuclear Citizens' Movement to End Nuclear Power and Implement Change in Japan's Energy Policy What Needs to be Undertaken to Meet this Challenge](#) (要旨と全文: 英語)
8. [震災学寄稿「水俣・スリーマイル・福島」](#)
9. [NIRS' Fukushima telebriefing March 6, 2014 featuring](#)
10. [京都の原発防災ってどうなってるの？](#)